

2013

スモレンスキ®

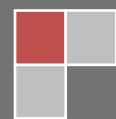
「フート仕様 設置・試運転要領書」 【ストレート型】

◆設置（配管レイアウト等）の手引

- ①ポンプサクション配管の勾配について
- ②呼水ラインの位置（エア残留防止）
- ③フート仕様弁前後の容積比率（V1／V2）
- ④液面低下による「水面切れ」防止
- ⑤水槽点検後は試運転より再スタート

◆試運転（メンテナンス等）の手引

- ⑥ポンプグランド部の漏洩点検
- ⑦ポンプ2次側の抵抗を下げる
- ⑧フランジ等接続部の気密に注意
- ⑨配管内、バルブシート面の異物除去
- ⑩「呼水＆インチング」で再スタート



【スモレンフート仕様】
設置・試運転の点検要領

ストレート型(縦・横共通)

⑧フランジ気密
 パッキン老化
 フランジ増し締め等

③容積比率
 $V1/V2 > 1$

④液面切れ
 縦管長さと液面変動
 の関係を確認

⑤水槽点検後
 再度、試運転を実施

⑨異物の混入
 取り外し点検

②呼水の位置

①3/100の上り勾配

V1



M

⑦二次側の抵抗
 バルブ開度→全開

⑥グランドの漏れ
 増し締めで漏れ防止

P

M

P

【点検順序】

<設置時(配管レイアウト等)>

- ①ポンプに向かって“上り3/100程度”的勾配で配管して下さい。
- ②呼水の際、空気抜きが同時に出来るようなラインか確認して下さい。
- ③呼水量V1と空気量V2の割合(V1/V2)が大きくなるよう留意して下さい。
- ④水面高さの変動で「液面切れ」が起こらないように縦配管長注意して下さい。
- ⑤水槽を空にした場合は縦配管が空になるので再スタートして下さい。

<試運転時(メンテナンス等)>

- ⑥ポンプのグランドシール部分から漏洩していないことを確認して下さい。
 - ⑦二次側のバルブ類は全開とし、抵抗を下げて起動して下さい。
 - ⑧吸込みフランジの気密不良で落水事例がありますので注意して下さい。
 - ⑨配管内に異物がない様に確認して下さい(フラッシング、内部清掃等)。
 - ⑩上記点検後、「呼水＆インチング(ON/OFF)」を何度も行い揚水をして下さい。
- ◆「点検要領」を確実に行い、安全に起動しましょう◆